

沖縄 - 福島の怒りと ひとつになっ て闘います

労働者・農民・市民の力を合わせて

「国家のために従え」と言わんばかりの沖縄新基地建設、原発再稼働に向けたやり方は成田と同じです。

私たちは、新基地建設に反対する沖縄の人びと、被ばくの強制や住民切り捨てに抗する福島の人びとと怒りをひとつにして闘います。

一昨年の秘密保護法制定、昨年の集団的自衛権行使の容認と、安倍政権は戦争・改憲に向けた動きを進めています。こうした動きを止めるのは、私たち自身の力です。

戦争をとめるのは民衆の力

私たちは、1966年の成田空港閣議決定以来半世紀にわたって、地元住民を無視した暴力的な空港建設に反対し、完成を阻んできました。全国の労働運動、農民運動、住民・市民運動とスクラムを組み、体を張って闘ってきたからです。

労働者・農民・市民が力を合わせれば、国のやることも変えることができます。皆さん、ともに闘いましょう。

耕作権裁判 集会・デモへ

6 / 15

【日時】6月15日 午前10時30分から
【法廷】千葉地裁601号法廷

※裁判に先立ち、集会・デモを行います

同じ畑の別件裁判です。NAAIによる書類の偽造や違法な農地売買、耕作地特定の誤りなど市東さんの農地取り上げに関わるさまざまな違法・不当を暴き、控訴審に影響する重要な裁判です。



3・29 集会で発言する北原事務局長（背中＝成田市栗山公園）

今日にも戦争が始まってもおかしくない情勢です。成田空港は有事の際には軍事空港として使用されます。沖縄と連帯して、反戦・反基地闘争を闘います。

「ひとりとは万人のために、万人はひとりのために」という言葉があります。ひとりの農民の権利を守ることは、すべての人々の未来と命のかかった問題です。市東孝雄さんの農地は絶対守り抜かなければなりません。

何が何でも市東さんの農地を守る

反対同盟事務局長・北原鉦治



救援物資輸送を口実に成田空港を使用した自衛隊機

(2001年2月5日)